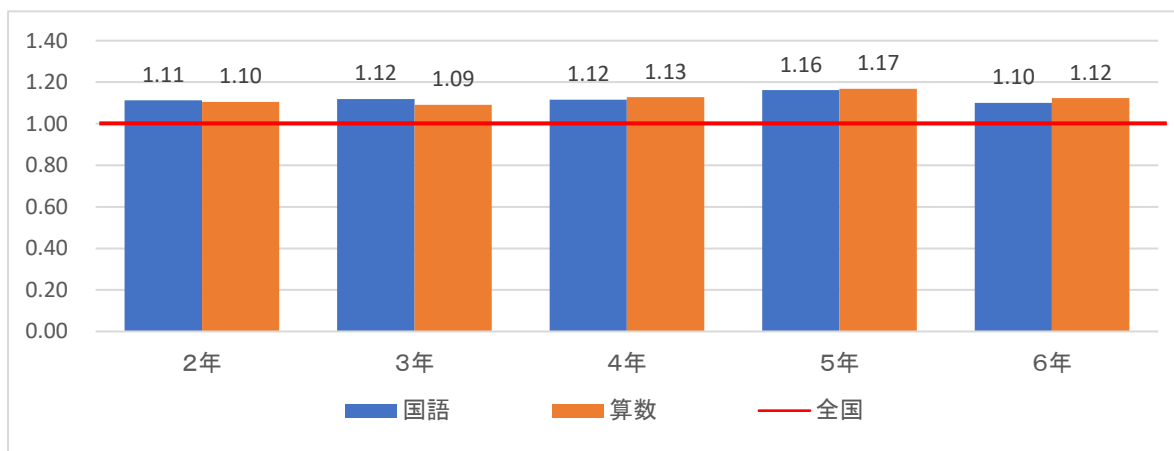


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第一中学校区 中央小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「書くこと」領域で、4学年の平均で全国平均を約18ポイント上回った。引き続き、表現したい意欲を高め、「自分の考え」をしっかり持つことのできる授業づくりの充実を図っていく。
	算数	昨年度課題のあった「図形」領域において、全国平均を10ポイント上回った。引き続き、空間認知力を育み、応用力に繋がる授業計画を重点化していく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる」設問が全国平均を約19ポイント上回った。引き続き、文脈をていねいに整理し、読解力向上を目的とした学習活動を多く設定していく。
	算数	「計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」設問において、全国平均を約18ポイント上回った。課題であった記述説明力に一定の成果が見られる。引き続き、理解を深め自信を持って記述できるよう指導していく。
	質問紙	「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」を問う項目の肯定的回答が全国平均を3.3ポイント上回っている。これからも子どもたちとの信頼関係を大切にし、主体的な活動が充実する学校生活の強固な基盤を構築していく。

○学力向上の取組

【中学校区】

「考える力・伝える力の育成」をテーマに「聴いて、考えて、つなげる授業」の実践に取り組んでいる。PBISの手法を取入れた授業改善にも努めている。

【学校】

本年度、大阪府「確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校」指定校。授業改善研究の取組。読書週間の設置。読書通帳や市のお届けBooks事業を活用した読書活動の推進。教職員による自主的なOJT研修の実施。「ノート大賞」の掲示。